



インフルエンザについて

インフルエンザは毎年12月から1月にかけて猛威を振ります。予防接種をしたり、予防・対処法についての知識を得たりと流行が本格化する前から注意を払っておく必要もあります。

□インフルエンザと風邪の症状の違い

インフルエンザは通常の風邪と違い、**38度以上の熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの痛みが急激に発症**します。

■インフルエンザの検査法

「迅速診断法」という方法で10分以内に結果を知ることができます。

鼻から拭い液(検体)をとってウイルスを調べます。但し、発症直後から**12時間以内**の場合は、体内のウイルス量が少なく陰性と判断される場合もあります。

□インフルエンザにかかったら

- 1) かかりつけ医師の指示に従って治療をうける。
- 2) 安静にして休養をとる。特に十分な睡眠が重要
- 3) 水分を十分にとる。(お茶やスープ、食欲摂取が落ちていれば糖質の入った飲み物も可)
- 4) 咳や、くしゃみによって周囲に二次感染をさせないためマスクを着用する。
- 5) 人混みや繁華街への外出を控える。職場や学校に無理して行かない。

一般的にはインフルエンザ発症前日から**発熱して5日間**は鼻や喉からウイルスを排出するため、その期間は外出を控える必要があります。

学校保健安全法では「**発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで**」を

内科

渡邊 浩祥



■インフルエンザの治療薬

- ①タミフル
- ②リレンザ
- ③ラピアクター
- ④イナビル

これらの薬を発症から**48時間以内の早期に服用**すると**発熱期間は1~2日短縮**され、鼻や喉からの**ウイルス排出量も減ります**。

2日以降に服用すると十分な効果は期待できないため効果的な使用のためには、

かかりつけ医師の指示に従い、用法、用量、期間を守ることが大切です。

□インフルエンザの予防接種(ワクチン)を打つ時期

学校や仕事への影響を防ぐためにも、お子さんの受験シーズンに備えるためにも予防接種(ワクチン)は有効です。効果的な接種時期としては12月初旬までには終わるように計画を立てることをおすすめします。特に13歳未満の子供は2回の接種が推奨されているので**1回目は10~11月上旬、2回目は11月中**に受けることが理想です。

ワクチンの役割は**発病を予防**するだけではありません。インフルエンザワクチンを接種しておくことで**感染、発症した場合にも脳炎や重症肺炎などの重症化を防ぐ**ことが主な目的です。また、妊娠中の母親が接種すると**生まれた赤ちゃんにも予防効果**があります。

毎年流行するインフルエンザは、とてもありふれた病気ですが決して軽い病気ではありません。重症化すれば入院となりますし、治療が遅れば1週間近く高熱や全身症状に苦しみます。できるだけ感染しないように予防すること、感染した場合も早めに治療を受けること、事前に情報を集め対処できるようにしておきましょう。

病院理

◇地域の中核病院として、安全で質の良い医療を提供します◇

基本方

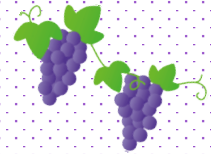
1. 私たちは、患者様の人権を尊重し、理解と同意のもと満足いただける医療を提供します。
2. 私たちは、他の医療福祉施設と連携を図り、地域住民の健康を確保するための医療を提供します。
3. 私たちは、医療の質を向上するために自己研鑽します。



当院は、敷地内(駐車場含む)禁煙です。ご理解、ご協力の程お願い致します



インフルエンザ予防接種実施のご案内



- 【予約】 受付窓口、電話
- 【費用】 ①越谷市に住所を有し、下記に該当する方
- ・ 65歳以上
 - ・ 60歳以上65歳未満で身体障害者1級を持っている方
またそれと同等の障害を有し、医師の診断書のある方
1500円（税込）
- ②一般の方（越谷市以外に住所を有する方、65未満の方）
- 1回目・・・**4500円（税込）**
 - 2回目・・・**3500円（税込）** ※中学生以下のみ

【お申込み】 予防接種は完全予約制です。
本館1階受付窓口、もしくはお電話にてお申込みください。
入院中の方は、スタッフまでお声掛けください。

部署

Vo.4

紹介

～ 薬剤科 ～



『薬剤科のメンバーは男性：3名、女性：7名の10名（1名は育休中、1名は事務員）です。』

主な業務は入院患者様の処方調剤・鑑査、抗がん剤や中心静脈から投与する輸液の混注、入院患者様に対する服薬指導、外来患者様に対する手技指導（インスリンやフォルテオの自己注射）、副作用情報の収集と発信などです。現在、人員の充実を図り、患者様に満足して頂けるよう業務拡大を行っている最中です。H28年10月からは日曜・祝日の勤務も開始しました。来年度はさらに3名の入職を予定しております。患者様だけでなく、一緒に働く医師、看護師などにみんなに安心してもらえるよう、薬剤科として業務を行ってまいります。

外来の患者様と関わる場面は多くありますが、何か薬のことでご相談などあれば、薬剤師にお声掛けください。薬学生向けにホームページやLINEで情報を発信しております。是非ご覧ください。』



小木 篤仁

就任のご挨拶

10月より赴任いたしました。

当院は2月に機能評価の受診、数年後には新病院オープン計画があり、大変忙しい時期となります。皆様のお力をお借りしながら、精一杯努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



事務長 池田 睦

火曜日午後外科外来開

10月より、火曜日の午後も外科外来をおこなうこととなりました。これにより外科外来の混雑を緩和するとともに、より多くの患者様に対応できるよう努めていきます。

医師：吉岡 竜二Dr



診療統計 平成28年7月～9月（月平均）

外来延べ患者数	16,684名(5,562名)
入院延べ患者数	16,473名(5,491名)
一日平均外来患者数	223名

救急搬入数	626名(209名)
紹介患者数	610名(204名)
手術件数	479件(160件)
内視鏡件数	468件(156件)